

男女共同参画ニュースレター

男女共同参画推進委員会

研修会の実施について

男女共同参画推進委員会では、2020 年度に男女共同参画社会の推進に向けた取り組みとして研修会を実施いたしました。

【テーマ】学校現場における男女共同参画と人権

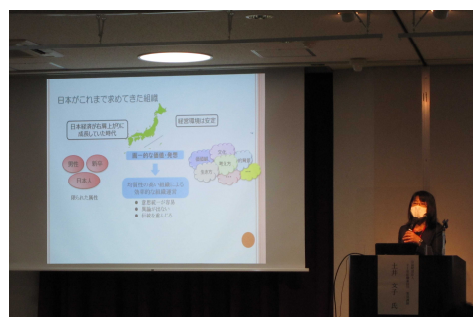
【日時】2020 年 11 月 27 日（金）15:50~16:50

【講師】公益財団法人 21 世紀職業財団 客員講師
土井 文子 氏

【会場】附属高等学校

メディアセンター 多目的ホール

【参加者数】40 名（役員 2 名、大学教員 1 名、附属学校教員 33 名、事務系職員 4 名）



研修会ではまず、男女共同参画に関する基本的事項について、社会的背景や男女共同参画社会基本法の内容をふまえてご説明いただきました。次に、学校現場において男女共同参画を進めていくためには、①多様性を理解すること、②アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を知ること、の 2 点が重要だというお話がありました。特に②については、学校現場においては教員の言動が児童・生徒に影響を与える可能性があることから、日頃からアンコンシャス・バイアスを意識して行動することが必要であるという指摘がありました。さらに、自分自身の働き方の多様性を理解することも大切というお話があり、ワークライフバランスや自分自身のキャリアについて、ワークを通して考える時間も設けられました。最後に、多様性を理解し、アンコンシャス・バイアスを意識することが、人権の尊重やワークライフ



バランスの実現につながり、男女共同参画への第一歩となる、というお話がありました。

参加者からは、「多様性を認め合うことの重要性や難しさを改めて感じた」「頭では理解しているつもりであったことを改めて意識する機会となった」といった声が寄せられました。

教職員の育児・介護等を支援する制度一覧について

本学では、育児・介護休暇、短時間勤務など、育児・介護等を支援するための各種制度を整えています。育児・介護のほか、結婚・出産に関する制度があります。

下記の表は制度の一部です。下記以外の制度や詳細について、本学ホームページの「男女共同参画」→「教職員向け」に掲載しています。

(<https://www.kyokyo-u.ac.jp/danjo/>)

育児・介護等を支援する制度一覧（抜粋）

結婚	結婚休暇	結婚式、旅行その他結婚に伴い必要と認められる行事のための休暇
出産	妊娠中の勤務免除	保健指導又は健康診査を受ける場合の時間
		休憩又は補食のための時間
		通勤混雑等による負担緩和のため必要な場合
	産前休暇	[常勤職員] 産前8週間（多胎妊娠の場合は14週間）の休暇 [非常勤職員] 産前6週間（多胎妊娠の場合は14週間）の休暇
	産後休暇	産後8週間の休暇
	配偶者の出産休暇	配偶者の出産に伴い勤務しないことが相当であると認められる場合
子の養育のための休暇	配偶者が出産する場合であって、出産に係る子又は小学校就学前の子（配偶者の子を含む）を養育するための休暇	
育児	早出遅出勤務	業務の正常な運営に支障がある場合を除き、始業及び就業の時刻を7時から22時の範囲内で繰り上げ又は繰り下げ、所定労働時間を変更せず勤務
	子の保育のための休暇	生後1年に達しない子の保育（授乳等）をするための休暇
	子の看護等のための休暇	中学校就学の始期に達するまでの子（配偶者の子を含む）を看護するとき（予防接種・健康診断等への付き添い含む）の休暇
	子の学校行事等への出席のための休暇	中学校就学の終期に達するまでの子（配偶者の子を含む）が在籍する（又は在籍することとなる）学校の行事等へ出席するときの休暇
	育児休業	3歳に満たない子と同居し養育する場合の休職（1週間の所定勤務日数が2日以下の方は利用できない）
	育児短時間勤務	1日あたり4時間（非常勤職員は所定労働時間の2分の1の時間）を超えない範囲内で短縮して勤務
介護	早出遅出勤務	業務の正常な運営に支障がある場合を除き、始業及び終業の時刻を7時から22時の範囲内で繰り上げ又は繰り下げ、所定労働時間を変更せず勤務
	介護休暇	要介護状態にある家族の介護のための休暇
	介護休業	要介護状態にある家族の介護のための休職（1週間の所定勤務日数が2日以下の方は利用できない）
	介護短時間勤務	1日あたり4時間（非常勤職員は所定労働時間の2分の1の時間）を超えない範囲内で短縮して勤務

京都教育大学 男女共同参画推進委員会

（担当：総務・企画課）